

令和3年2月9日

## 「社会資本総合整備計画(H27～H31)事後評価(案)」に対するパブリックコメントの結果報告

### 1. 募集期間

令和3年1月8日(金)から令和3年1月29日(金)

### 2. 募集方法

市ホームページに実施概要を掲載し、ご持参頂くか郵送、ファクシミリ・電子メールのいずれかの方法で意見の提出をお願いしました。

### 3. 募集結果

提出方法	提出件数
窓口提出	0 件
郵送	0 件
ファクシミリ	0 件
電子メール	1 件
合計	1 件

### 4. お寄せいただいた意見の概要とご意見に対する下水道整備課の考え方

	いただいた意見の概要	ご意見に対する下水道整備課の考え方
1	泉佐野市の下水道普及率40.8%は、全国平均79.7%、大阪府平均96.7%を大きく下回っているなか、社会資本総合整備計画(H27～H31)の整備目標値が低すぎるのではないかと。	<p>本市の場合、公共下水道事業着手を南大阪湾岸流域下水道事業にあわせたため、供用開始した平成3年時点で既に全国の下水道普及率は平均45%、大阪府平均66.8%であり大幅な差がありました。</p> <p>また、関西国際空港開港に併せた、りんくうタウンの埋め立てに伴う雨水整備(雨水ポンプ場や幹線管渠)に比重を置いたため、汚水整備については平成3年当時に開いていた全国平均との差(45%)を縮めることができていません。</p> <p>社会資本総合整備計画(H27～H31)の整備目標値については、市の財政状況悪化に伴い、大幅な累積赤字を解消していくため、事業費を縮小せざるを得ない状況が続き、低い整備目標値となっております。</p>

2	市民の健康を守り環境を改善させるために今後の下水道普及率について野心的な目標をあげ、下水道事業という大切な事業を真剣に取り組んでいただきたい。	<p>下水道整備は必要不可欠な社会資本整備事業であり、第5次泉佐野市総合計画市民アンケート調査においても重要性が高く、満足度が低いとの結果であります。</p> <p>本市下水道事業においては平成30年度決算において累積赤字を解消し黒字化したこと、また、令和2年度に公営企業会計に移行したことにより、下水道事業の収支状況、組織体制、施設の老朽化に伴う更新需要の増大などを総合的に捉えた「下水道事業経営戦略」を令和2年度中に作成し、普及率のアップに向けた整備目標値(整備量)を設定するとともに、令和3年度より、それに基づき下水道の整備率の向上を図り、健全で持続可能な下水道経営に努めて参ります。</p>
---	---	---